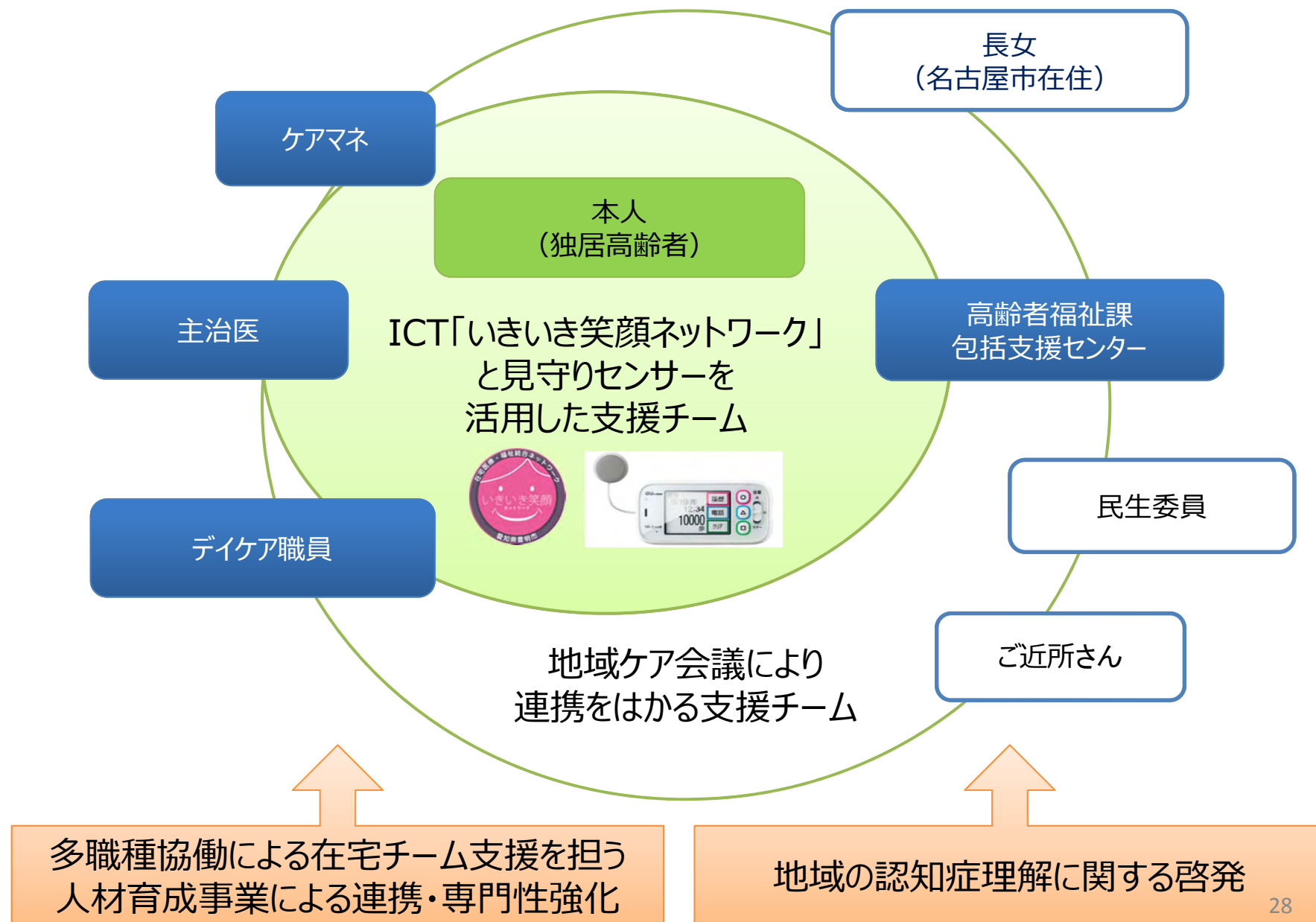


Nさん 認知症でも、本人が望む自宅での独居生活を継続するための支援



認知症、医療ニーズの高い在宅療養者、独居高齢者など
多様な地域の事例を支える「地域包括ケア」には
多重層的な仕組みづくりが必要



Nさんの事例では・・・
地域ケア会議、多職種人材育成事業によるスキル向上
近所の見守り、家族との連携支援
ICT「いきいき笑顔ネットワーク」の活用
見守りサポート事業
家族や地域の認知症理解
介護保険サービス、高齢者福祉サービス



フィードバックして、さらに必要な仕組みづくりへ



けやきいきいきプロジェクトの取り組み Section 2

豊明団地の地域包括ケアづくり

Section2 豊明団地の地域包括ケアづくりから



■ 豊明団地の概要

- ・高度経済成長期に建設された豊明団地
- ・高齢者独居世帯・高齢者夫婦世帯の増加
- ・5階建て55棟
- ・人口4,663人うち、高齢者人口1,536人
- ・高齢化率 **32.9%**

■ 豊明団地の問題

- ・持続可能な在宅医療福祉連携体制の構築とともにまちづくり対策が急務
- ・後期高齢者の要介護者の急増が予想され、介護予防及び生活支援策の充実が急務
- ・団地内唯一の診療所は医師が高齢化しており、後方支援体制と今後の体制整備が必要
- ・団地の空き店舗、空室が増加している

Section2 豊明団地の地域包括ケアづくりから

時期	実施内容	参加者
4/15	地域懇談会 ・モデル事業について ・URとの協定締結について	団地自治会役員、高齢者福祉課
4/16	UR都市機構との包括協定締結	
4/22	豊明団地生活支援アドバイザー ヒアリング	生活支援アドバイザー、包括支援センター 高齢者福祉課
4/30	地域懇談会 ・藤田保健衛生大学の取り組み ・団地自治会の活動について	団地自治会役員、藤田保健衛生大学 高齢者福祉課
5/23	地域懇談会 ・意見交換	豊明市長、団地自治会役員、高齢者福祉課
5/29	第1回 検討会 ・見守りサポート事業について	団地自治会役員、藤田保健衛生大学 包括支援センター、UR都市機構、高齢者福祉課

基本方針の明示



住民ニーズの把握



住民組織との意識
共有



推進エンジンとなる
組織結成の準備



Section2 豊明団地の地域包括ケアづくりから

時期	実施内容	参加者
6月～	見守りサポート事業 開始	
8/6	第2回 検討会 ・高齢者アンケートについて	団地自治会役員、藤田保健衛生大学 包括支援センター、UR都市機構、高齢者福祉課
8/18～ 9/19	豊明団地高齢者アンケート	
10/9～	高齢者健康増進教室 開始	
10/14	第3回 検討会 ・アンケート結果報告 ・実行委員会(案)について	団地自治会役員、藤田保健衛生大学 包括支援センター、UR都市機構、高齢者福祉課
11月～	「暮らしの保健室」視察 認知症徘徊模擬訓練 実施	

具体的な取り組み



住民ニーズの把握



協働事業の実施



推進エンジンとなる
組織結成



具体的な取り組みから見えてきた
課題に向けて



Section2 豊明団地の地域包括ケアづくりから

豊明団地の高齢者の生活ニーズを把握し、地域包括ケア整備策を検討するためにアンケート調査を実施

対 象 豊明団地在住の65歳以上の市民 1,109人から①②を除いた851人
 ①要介護4・5 14人 ②第6期高齢者福祉・介護保険計画ニーズ調査送付者 244人
 実施時期 平成26年8月下旬から9月下旬

アンケート調査ご協力をお願い

日頃より、市政へのご理解ご協力いただき、大変ありがとうございます。
 豊明市は、4月16日にUR都市機構と包括協定を締結し、みなさまが住み慣れた地域でいつまでも元気で安心して暮らすことができるまちづくりを目指しています。

それに基づき、豊明団地地域における生活へのご要望やご意見を把握するためにアンケートを行うこととなりました。お忙しいとは存じますが、ご協力よろしくお願いします。



調査について

- 8月1日現在、豊明団地にお住まいの65歳以上の方にお送りしています。
- 回答は無記名で結構です。
- 当てはまる番号に○をつけて、返信用封筒で 9月19日(金) までにご返信ください。
- 結果については、統計的に処理しますので、みなさまにご迷惑がかかることはありません。また、この集計結果は藤田保健衛生大学とも共有し、活用します。

(1) あなたの性別はどれですか？

- 1 男 2 女

(2) あなたの年代はどれですか？

- 1 65～69歳 2 70～74歳 3 75～79歳
 4 80～84歳 5 85～89歳 6 90歳～

(3) 現在の世帯(同じ部屋に居住)状況は次のどれですか？

- 1 ひとり暮らし 2 夫婦ふたり暮らし
 3 その他()

(4) 現在の体調はいかがですか？

- 1 よい 2 ふうふう 3 悪い

(5) 日ごろ、運動をしていますか？

- 1 毎日 2 週に3日以上 3 週に1～2日程度
 4 月に1～3日 5 運動していない

(6) あなたが現在使っているサービスは何ですか？

- 1 介護保険サービス (ホームヘルプ、デイサービス、ショートステイ等)
 2 医療サービス(訪問看護、訪問リハビリ等)
 3 UR団地生活支援アドバイザー(安心コール等)
 4 豊明市のサービス(配食サービス、緊急通報、ミルク等)
 5 その他()
 6 特に何も使っていない

(7) あなたが現在日常生活の中で困っていることは何ですか？ (3つまで○)

- 1 外出時の手段 2 日常の買い物
 3 家の掃除や洗濯 4 食事のしたく
 5 ごみ出し 6 入浴
 7 家具の移動や電球の取替えなど簡易な修繕
 8 通院や薬を取りに行くこと 9 預貯金の出し入れ
 10 役所の手続き 11 運動する機会がない
 12 家族の介護や世話
 13 おしゃべりする相手がいない
 14 階段の上り下り 15 特に困っていることはない
 16 その他()

(8) 今後、利用してみたいサービスは何ですか？ (3つまで○)

- 1 送迎サービス 2 買い物宅配サービス
 3 民間の生活支援サービス (部屋の掃除、食事のしたく など)
 4 区や自治会の行う生活支援サービス (家具の移動や電球の取替えなど簡易な修繕)
 5 身近な健康・生活相談 6 健康づくり・運動教室
 7 食事の配達サービス 8 地域の交流会・食事会
 9 緊急時の連絡サービス・日頃の見守りサービス
 10 特にない
 11 その他()

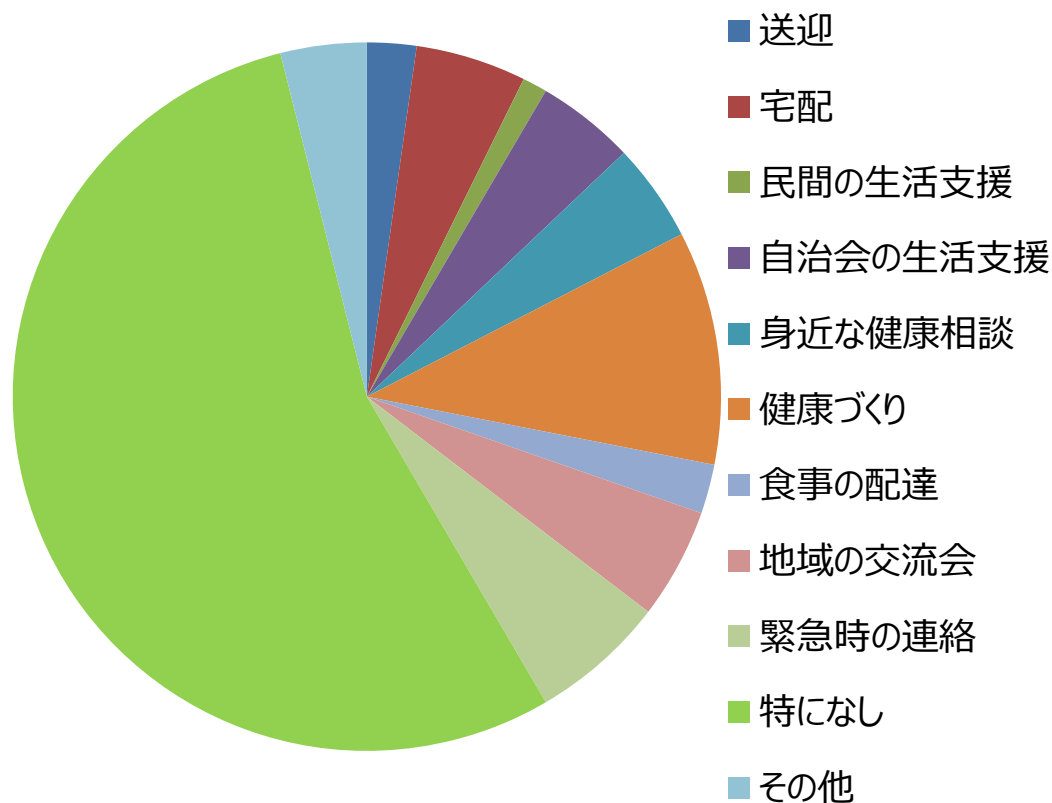
ご協力ありがとうございました。
 アンケートを返信用封筒に入れて、投函してください。

※ご記入上のご不明な点は、下記までお問い合わせください。
 豊明市役所 高齢者福祉課 地域ケア推進係 TEL 0562-92-1261

Section2 豊明団地の地域包括ケアづくりから

豊明団地の高齢者の生活ニーズを把握し、地域包括ケア整備策を検討するためにアンケート調査を実施
〔高齢者健康増進事業：藤田保健衛生大学との協働事業〕

■これから利用したいと思うサービス



過半数は「特になし」であるが

①送迎、宅配、生活支援、食事の配達といった「生活支援サービス」

②身近な健康相談、健康づくり、地域の交流会といった「地域交流・相談サービス」

③「緊急時の対応」

といったサービスを求める声が多かった。

※藤田保健衛生大学地域包括ケア中核センター分析より抜粋

Section2 豊明団地の地域包括ケアづくりから

外出機会やコミュニティへの参加を促進し、地域でいきいきと暮らす高齢者の増加へ
〔高齢者健康増進事業：藤田保健衛生大学との協働事業〕

見守りセンサー & 歩数計として
健康づくり教室にも活用。

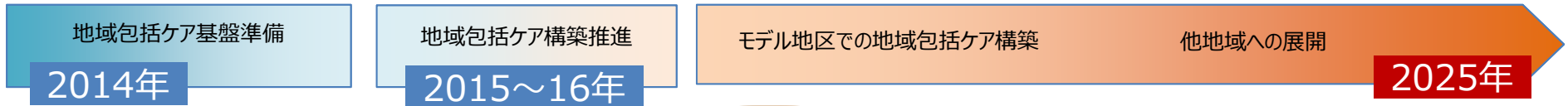
歩数ランキングで
参加者の
モチベーションアップ





27年度に向けて

豊明市の目指す地域包括ケア体制



豊明市の現状

高齢化率の上昇
 豊明団地を中心とする地域課題
 地域医療・介護を担う慢性的な人材不足
 回復期・慢性期の受け皿の不足
 効率的な多職種連携体制の未確立 等



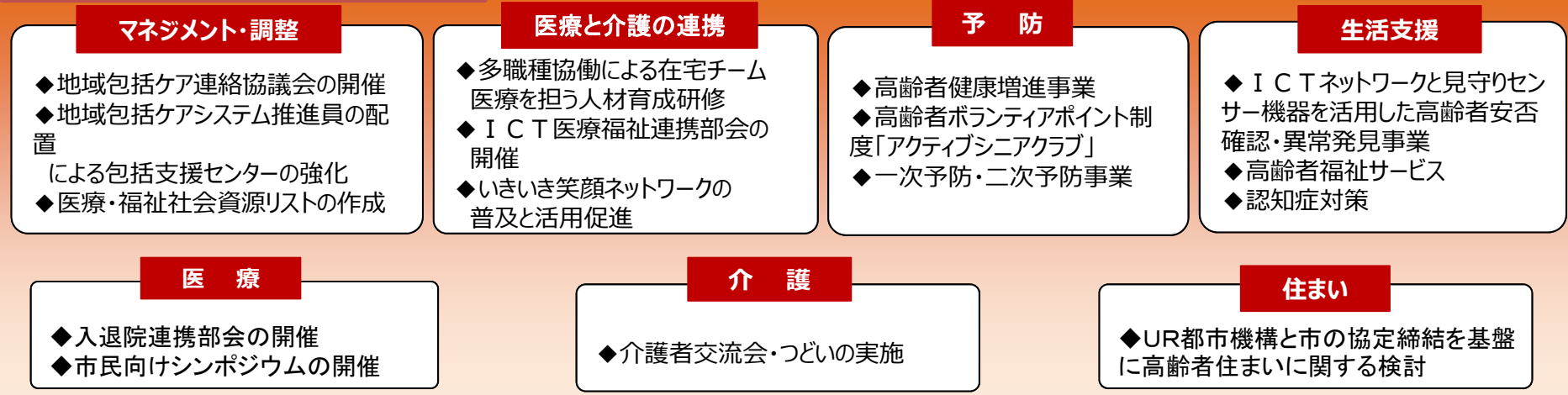
豊明市の達成すべき政策目標

「地域完結型医療」と地域包括ケアシステムの構築

一人でも元気で幸せに暮らすことのできる社会の実現

社会保障費（医療・福祉）の適正化

あいち地域包括ケアモデル事業



豊明市の特徴

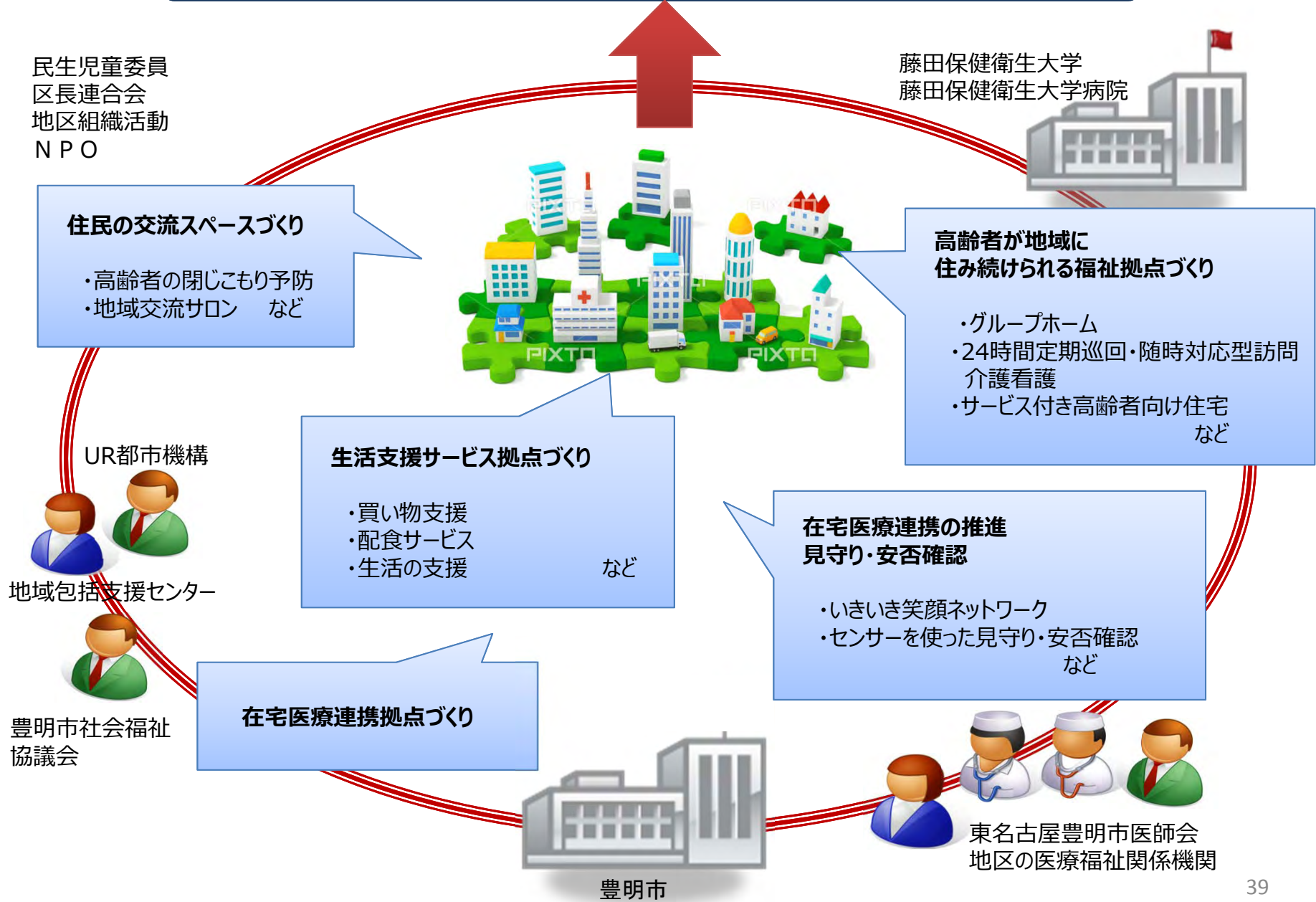
藤田保健衛生大学
 地域包括ケア中核センターとの協力

在宅医療・福祉統合
 いきいき笑顔ネットワーク

名古屋大学医学部附属病院
 先端医療・臨床研究支援センターによる支援

UR都市機構との包括協定

一人でも元気で幸せに暮らすことのできる社会の実現





問い合わせ先

豊明市役所 健康福祉部
高齢者福祉課 地域ケア推進係

担当者 : 近藤、矢野、竹田
E-mail : koreifu@city.toyoake.lg.jp
TEL : 0562-92-1261
住 所 : 豊明市新田町子持松1番地1

いきいき笑顔ネットワークポータルサイトもご覧ください。
「いきいき笑顔 ポータル」で検索 または
<http://p-ikiiki.nu-camcr.org/cms/>